

JC Service realize SMART CITY

最小のエネルギーで回る、持続発展可能な社会の実現

クリーンな再生可能エネルギーを効率よく使い、
最小のエネルギーで回る持続発展可能な社会、国、地球環境を創ることで、
未来の子供たちと国際社会への責任を果たしていくこと、
同時に高齢社会においても持続発展可能な企業モデルを示していくことが、
JC サービスの使命と考えています。

目指すのは、 防災対応型のスマートシティの実現

災害に強靭な「防災型スマートシティ」こそが、私たちが目指すビジョンです。
エネルギーを融通し合うスマートグリッド、エコカー中心の都市交通、蓄電池や省エネ家電、ITを駆使した都市インフラ。そして防災対応システムを備え、人々の生活環境と安全安心を守る街。その街は最小のエネルギーで回り、そのエネルギー源はもちろん、地域資源を活用した、再生可能エネルギーが中心です。
子供たちの笑顔と地域の絆を育む、豊かなコミュニティを持つ社会です。
私たちは技術革新を積極的に取り入れ、常に時代の最先端を走り、果敢に社会的課題解決に取り組んで参ります。



太陽光発電

MEGAWATT-SCALE SOLAR PV OPERATIONS

元々JCサービスは省エネに関するシステムやコンサルティングを扱っていましたが、東日本大震災が発生し、その後のFIT導入を受け、太陽光発電事業が本格的に立ち上がりました。事業内容としては、ひとつは自社でIDを取得して、売電ができるまでを管理することです。もうひとつは、IDと土地はすでにあるのに、発電に至っていない案件に対し、効率的に稼働させる設計を組んで、展開することです。コンサルティング的な立場で関わることもありますが、主な事業領域としては、太陽光発電の案件に対し、開発と認可を進めています。

バイオマス発電

BIOMASS POWER GENERATION

2016年5月から本格的に開始し、今や当社の事業展開の中でも、大きなウェイトを占めています。きっかけは、タイ政府から日本政府に対してなされたゴムの木の再利用への支援要請にあります。タイはゴムの木を大量に植林していますが、ゴムの原料となる樹液が出なくなり、植え替える際に木は伐採され、丸太が一部家具材として利用される以外には有効活用されていませんでした。このような状況を受け、民間レベルでの国際協力の一環として、当社がゴムの木を、現地工場で高品質なペレットに加工して日本に輸出し、国内のバイオマス発電所で燃やすという、一気通貫の取り組みに着手しました。2017年8月にはタイ駐在員事務所を開設し、翌月にはタイ政府と基本合意書を締結しました。バイオマス事業の成功には、長期的に安定した競争力ある燃料供給のサプライチェーンが必要不可欠であり、当社の強みともいえます。

小水力発電

MINI HYDRO POWER PLANT

現地企業とのJVで2017年1月から、スリランカ・サバラガムワ州でミニ水力発電による売電事業を行っています。当社の株式所有比率は8割で、同社の持つ小水力発電所は最大出力1600kW、流域面積は約153km²あり、使用水量は18.6m³/秒、最大落差は10.5mの規模となっています。スリランカは小水力発電国であり、再生可能エネルギーへの期待は非常に大きなものがあります。一方で、雨季と乾季の差が大きく、当社としては、実績を見極めたくて、第二号案件を進める予定です。スリランカ版FITに認定されています。

海洋温度差発電

OCEAN THERMAL ENERGY CONVERSION (OTEC)

海洋温度差発電とは、海の表層部の温かい海水(約25度~30度)を温熱源に、深層部の冷たい海水を冷熱源として利用する、日本で唯一、世界でも数企業しか取り組んでいない発電システムで、極めてクリーンなエネルギーを生み出します。海洋発電の建設可能な国は世界で約100か国に及ぶと言われ、高い発電ポテンシャルを誇ります。年間を通じ安定した電力供給も期待できることから、地域によっては安定したベースロード電源の期待もあります。当社の子会社「ゼネシス」は世界で唯一の海洋温度差発電用の熱交換ユニットの技術を持っており、2013年には沖縄県久米島に陸上設置型の発電所を建設し、実証実験を行っています。当社は海洋温度差発電分野においては世界の最先端を走る企業として認知されています。

JC SERVICE GROUP COMPANIES

- 株式会社グリーンインフラレンディング
- JC証券株式会社
- 株式会社E&T総研
- 株式会社ルココ
- 株式会社ゼネシス
- 株式会社マナブ測建
- ユタカ工業株式会社
- Hapugahakumburaハイドロパワー株式会社



本社

大阪府大阪市西区靱本町一丁目11番7号
信濃橋三井ビルディング2階
TEL: 06-6444-3666 FAX: 06-6444-3667

Website: <http://jcservice.co.jp/>

東京事務所

東京都港区赤坂一丁目9番13号
三会堂ビル6階
TEL: 03-3585-1118 FAX: 03-3585-8222

E-mail: contact@jcservice.co.jp